

自分のまちを再発見

根雨5区がまち歩き大会を開く



根雨神社前を歩く参加者



多くの参加者が、自分のまちの歴史を再発見

区民の親睦と体力増進を図ろうと、11月3日、根雨5区でウォーキング大会が開かれました。

これまで、リバーサイドひの（下榎）まで歩いていたものを、今年は出雲街道根雨宿のまち歩きを企画しました。地区の役員を務める天野智さんは「たたら製鉄が注目を浴び、出雲街道のまち歩きも盛んになっている。根雨5区には、まち歩きガイドしている人がいるため、身近な歴史を知ってみようを企画した」と経緯を説明。

区民からは「日ごろ見落としがちな建物の造りなど、再発見でき良かった」など好評を得たとのこと。当日は区民のほか企業からも参加があり、総勢58人がじっくりと歴史に触れました。

来年の開催について天野さんは「回れなかった場所もあるので、コースを検討したい。子どもたちが興味を持ってくれたことがうれしかった」と今後の大会運営に力が入っている様子でした。

地域の絆が深まる一日に

高尾自治会でもちつき大会開催



多くの住民が参加しにぎやかなもちつき大会に



幅広い年代が同じ臼のもちをつく。良い雰囲気

地域の絆と親睦を深めることを目的に、12月8日、高尾公会堂でふれあい交流もちつき大会が開かれ、多くの参加者でにぎわいました。

これまで子ども会主催だったもちつき大会を、地域住民全員が参加できるものにしようとして昨年から実施。普段顔を合わせることの少ない子どもたちとの交流に、高齢者は喜んでいきます。

4人づきでついたもちちは、雑煮やきなこもちに。雑煮はブリや海苔の入った豪華なものでしたが、子どもたちに人気だったのは、きなこもちのようでした。懇親会には、地域の人が秋に採った山菜の塩漬けを使った料理のほか、早朝から準備されたたくさんさんの料理が並べられ、親睦が深まった一日となりました。

高尾自治会長の音田直樹さんは「春は花見、秋は収穫祭、冬はもちつき大会と、季節ごとに行事を行い、地域住民の集う場を作っています。恒例行事として続けていきたい」と微笑みました。

父親も育児に積極的にかかわろう

▼日野郡男女共同参画連絡会が、育児を考えるイベントを開催

12月9日、開発センターで『パパをもっと楽しむ講座』が開かれ、郡内から多くの親子が参加しました。

これは、日野郡男女共同参画連絡会（山根靖代会長）が主催。子育てを楽しむ現役の父親を講師に迎え、子育てのヒントなどを聞いたほか、子ども専門のスポーツクラブによる体操教室も行われ、参加者らは、充実した時間を過ごしました。



自らの体験談を話す松本さん（中）



体操教室の様子。子どもたちは思いっきり体を動かし、笑顔が絶えない

父親の子育て参加の充実を図ろうと、「子育ては人生最大のエンターテインメント」と題し、子育てを楽しんでいる父親、米子市在住の松本誠二さんが話されました。

松本さんは米子市で自営業を営む社長として、忙しい毎日を送る中で、子育てを楽しみながら取り組んでいる体験談をもとに講演。「小学校に入るまでの子育ては自由な時間がほとんどなく、大きなストレスだが、その負担を父親と母親で互いに軽減することが大事」と支え合うことを話しました。

さまざまな場面で父親が育児にかかわろうと取り組む中で、「母親や社会の環境が追い付いていない。たとえば、保護者懇談に来るのはほとんどが母親で、健診でも父親が連れて行けば問診をしても分からないだろうと決めつけられる」と、松本さんは自らの体験を伝えました。

そして、今、育児にかかわることの大切さとして『母親は強い』と言われるが、も

ともと強いわけではなく、子育ての中でさまざまなことを学び、人間として成長するから強くなれるのです。このような貴重な機会を、父親も体験しないともったいない」と訴えました。

最後に「子どもが小学校に入れば自分から離れて行っただよと感じます。中学や高校に入ればなおさらです。実際に育児に時間と労力を費やすのは小学校に入るまでで、過ぎてみれば一瞬のことに感じます。仕事や自分の時間を多少犠牲にしても、育児に時間を費やすべきです」と、松本さんは参加者にエールを送りました。

また、講演後は、鳥取市を中心に活動している子ども専門体操クラブ「チャレキングスポーツクラブ」が、日野郡初となる出張親子体操教室を開きました。エアマットや平均台、跳び箱、鉄棒などを組み合わせた体操に、参加者は夢中になって遊び、「もっと遊びたい」と元気いっぱいでした。

▼あなたの声や地域・職場での話題をお寄せください。

★役場企画政策課まで（電話72・0332）